

令和6年度 事業計画書【簡略版】

令和6年4月 1日から
令和7年3月31日まで

基本方針

令和6年が能登半島地震の発生によりスタートし、丸4年続く感染症への対策に加えて、私たち社会福祉法人が大規模災害発生時に事業をどのように継続しなくてはいけないのか警鐘が鳴らされ、日頃からの備えの重要性を再認識させられました。この地震により亡くなられた方々に哀悼の意を申し上げますと共に、能登半島全体の一日も早い復興を願うばかりです。

現在、考え方や価値観が異なる人々を武力で抑え込もうとした紛争が世界各地で発生しており、この影響から燃料や食料など様々な分野での物価高騰に拍車がかかり、感染症対策費用に加えて様々なコストが増加しています。また、国の人口推計では、年齢別の要介護認定率が5割を超える85歳以上人口が2040年には2020年対比で1.6倍に増加する一方、15歳から64歳までの生産年齢人口は0.9倍に減少し、全人口に占める要介護高齢者の増加傾向は加速度的に進んでいます。持続可能な社会保険制度を構築するため、給付と負担のバランスを図りながら、こども・子育て支援の拡充、医療・介護の連携強化、介護予防と健康づくりに向け地域内で共に支え合いながら誰もが住み慣れた自宅や地域で自分らしく安心して暮らし続けられる地域包括ケア体制の構築、自立支援や人材不足等の対策による科学的介護の推進など、待ったなしの対策が求められています。

当法人はJ A松本ハイランドの組合員の願いを実現する形で創設されてから四半世紀近くが経過します。昨今、国内外で生じている自身の繁栄・発展ばかりを追求し他者を排除するような流れに対し、協同組合の相互扶助の精神を大きな指針として「一人一人が自分らしく暮らすため何をすべきか」、支える側支えられる側という従来の関係を超えて人と人、人と社会がつながり、生きがいや役割を持ち助け合いながら暮らしていくことができ、地域の中で起きる様々な「困りごと」をともに解決することのできる包摂的な地域づくりに向けて、私たちの役割はますます重要となっています。

松本市の「第9期高齢者福祉計画」では、今までの福祉計画をシンカ（深化、進化）させていく方向が示されており、法人では第6次中期経営計画（令和4～6年）3年目となる今年度も、「利用者」「地域」「人材」「経営」をキーワードとした基本方針は変えずに、今回の介護保険制度改正で強化策が示されている、医療との連携、地域包括ケアシステムの深化・推進、人材定着率の改善・人材確保、生産性向上への取り組み、安定した運営体制の構築に向けた法人間連携やJ Aとの連携に加えて、大規模災害時における事業継続対応の強化なども基本目標に盛り込みながら取り組みを進めてまいります。

2025ビジョン

住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができる地域共生社会の実現に貢献する。

基本方針

【利用者】

一人ひとりの尊厳を大切に
し、自立支援に向けた取り
組みの推進

【地域】

地域における様々な福祉課
題・生活課題に地域と連携
した取り組み

【人財】

高度な専門性を持った
多様な福祉人材の
確保・定着・育成

【経営】

信頼性の高い効率的な
事業運営を行う
健全な経営の確立

基本目標

「その人らしく生きる」
自立支援

認知症の支援強化

看取り支援の強化

利用者満足・家族の安心を
得るサービス提供

多様な担い手との連携

公益的な活動

認知症啓発活動

働きやすい職場環境づくり

将来を担う福祉人材育成

福祉人材の確保

法令遵守と
ガバナンス強化

健全な財務規律

技術革新を通じた
労働生産性の改善

情報発信の強化

災害・非常時への
対応強化

長期的視野に立った
事業展開

社会福祉法人松本ハイランド経営理念

1. わたしたちは、地域とともに歩み、支え合い、助け合う地域福祉をめざします。
1. わたしたちは、一人ひとりの尊厳を大切にし、自分らしいくらしの実現に向け支援します。
1. わたしたちは、笑顔と思いやりの心、責任と誇りを持ちより高い目標に向かい、惜しみない努力をします。

【利用者】

基本目標	実施具体策
1.1 利用者が「その人らしく生きる」ための自立支援に取り組みます。	1.1 自立支援の取り組み強化～その人らしく生きるために～ (1) 利用者の自立支援に取り組むため、関わる職員の資質向上を目的とした研修等の実施及び参加 (2) 各事業所ごとに自立支援・介護予防・重度化防止対応実施 (3) 利用者を取り巻く多職種連携を活発に実践 (4) LIFEの活用・フレイル予防の取り組み
1.2 認知症の支援(取り組み)を強化します。	1.2 認知症についての教育強化～専門的な取り組みの強化～ (1) 職員の認知症理解促進対策 (2) 認知症に関する職員の資格取得の推進
1.3 看取りの支援を強化します。	1.3 自分らしい最期を迎えるための取り組み強化 (1) 「自分らしい最期」について自己決定を主眼とした学びの場を提供 (2) 看取りの支援に対する職員教育の強化(アドバンスケアプランニングACP含む) (3) リビングウィル(事前指示書)の推進・定着強化。 研修参加 (4) グリーフケアの実施 (5) ふれあい健康教室等で地域住民に対してリビングウィルの周知 (6) 老人保健施設・病院・有料老人ホーム等での事例検討会にてケースの看取り支援の提案、事例検証を実施
1.4 利用者の満足・家族の安心を得るサービスの提供に努めます	1.4.1 利用者本位の支援の実現 (1) 個別ケアを重視したケアの提供 (2) 職員が相手の思いを組むことができる感性を醸成するための支援強化～相談援助技術の向上～ (3) 利用者家族との連絡、連携の強化、ヒヤリハット活用による事故防止 1.4.2 利用者の安心・安全の確保を実現 (1) 利用者の満足度調査の実施 ・ 家族会の実施 (2) リスクマネジメント対策 ・事故防止対策の強化 ・苦情解決、相談体制の確立 ・安全対策体制の確立 (3) 法令順守マニュアルの点検 (4) 感染症対策の強化 (5) 身体拘束・虐待防止対策の強化
1.5 サービスの質の向上に向け取り組みます。	1.5.1 職員の資質向上を図る (1) 質の向上に向けた取り組み～多岐にわたる研修への参加～ (2) 法人内職種間交流の強化～職種間レベルの均一化 1.5.2 サービスの質の向上対策 (1) サービスの自己評価の実施・ 検証・改善 (2) 第三者評価の受審 (3) サービスの情報公開の適正実施 (4) LIFEの活用

【地域】

基本目標	実施具体策
2.1 JAをはじめ様々な福祉ニーズの「担い手」とのつながりを強化します。	2.1 地域包括ケアシステムの多様な担い手との連携 (1) JAをはじめとする地域にある多様な組織(ボランティア、自治会)との連携 ・地域行事、福祉ひろば、公民館活動への参加 ・地域づくりセンター、地区生活支援員、民生委員との連携づくり ・第三者委員・運営委員との情報交換 ・夢あわせの会ゆめの里支部の活動計画作成、実施 ・JA組合員へJA支所だよりを通しての情報提供 ・JA松本ハイランドや地域の方々が生産している野菜等を施設の食事で使える仕組み作り ・ボランティア団体との懇親会を実施 ・ボランティアの定期慰問、作業ボランティアの受け入れ ・地域交流事業の開催(夏祭りなど) (2) 行政・地域包括支援センターとの連携強化 ・行政との情報交換の実施(随時) ・地域包括支援センターと連携、情報共有、勉強会参加 ・地域ケア会議参加 ・信州大学、松本大学や、福祉関係の学生との交流促進 (3) 医療機関、他の社会福祉法人、団体等との連携 ・協力医、主治医との連携・情報共有・他法人事業所との意見交換会実施 ・信州大学、松本大学や、福祉関係の学生との交流促進 ・高齢協や経営協の会議等へ参加、情報交換 ・ジェイエー長野会施設(うつくしの里)との情報交換会開催 ・地域包括支援センターの職員より地域課題と私たちの役割について研修を開催 (4) ボランティアの育成 ・ふれあい体験の場づくり ・ボランティア体験希望者の受け入れ ・松本社協のボランティアセンターとの連携 ・地域ボランティアとの交流、意見交換会実施
2.2 地域における公益的な活動に取り組みます。	2.2 公益的な取り組みに向けた地域の多様な主体との連携・協働 (1) 社会福祉法人における社会的役割の認識を深める ・社会福祉法人としての社会的役割についての勉強会実施 (2) 地域課題解決に向けた公益的活動の実施 ・地域課題の把握(地域住民、地域支援員との懇談等) ・法人内事業所、多職種連携による出張サービス、介護予防教室等開催(公民館活動実施) ・移動困難者への買い物支援の継続(JAとの協同活動) ・地域住民に役立つ情報発信(リハビリ、認知症、健康増進等) ・オレンジカフェへの参加、地域サロンの立ち上げ支援・定期的な開催 ・保育園・小学校・中学校への啓発活動の実施 ・施設スペースの開放
2.3 認知症についての啓発活動に取り組みます。	2.3 認知症啓発活動の推進 (1) 地域住民等への啓発、地域との連携強化 ・認知症サポーター養成講座開催 ・認知症サポーター養成講座修了者へのフォローアップ研修開催 ・地域住民へ向けた認知症についての研修会開催 (2) 地域に向けた情報誌発行

【人財】

基本目標	実施具体策
3.1働きやすい職場環境づくりを推進します。	<p>3.1.1働きがいのある働きやすい職場環境の整備</p> <p>(1)各事業所での職場環境改善の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 各事業所の状況に応じた職場環境改善に対する取り組みを支援 労働安全衛生教育の取り組み 職場環境改善活動(5S活動)の実施 職員満足度調査や意向調査実施 職場環境改善の好事例の共有化 <p>(2)生産性向上(業務改善)の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 生産性向上委員会の設置 職種、職務別に業務内容の見直し、業務の洗い出し、分担の見直し ICT導入と効果の検証 <p>3.1.2人材の定着に向けた取り組みの強化</p> <p>(1)組織風土づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 各事業所で実施する人材定着に向けた取り組み支援 職員間のコミュニケーション強化 職員交流会の実施(歓迎会、かたり場) 職場交換制度(一定期間別の職場へ行く)の検討 <p>(2)福利厚生施策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> リフレッシュ休暇(有休含む5連休)取得促進 福利厚生費等の有効活用(各事業所裁量で使用できるような) <p>(3)多様な働き方の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 柔軟な雇用制度、勤務体制の検討・導入 <p>(4)職員への継続的なフォローアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> 法人内産業保健スタッフによる定期的な職員面談 職員へのキャリア教育・メンター制度の研究 <p>3.1.3職員の安全と健康の確保</p> <p>(1)メンタルヘルスケアの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 心の健康づくり計画の策定と計画に沿った実施 相談窓口の職員への周知徹底 <p>(2)腰痛予防・病気予防等健康づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 職場における腰痛予防体操の取り組み・腰痛予防研修の実施 腰痛健康診断の実施・職員の健康管理指導 <p>(3)労働災害防止の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 労災視点のヒヤリハット報告
3.2将来を担う福祉人材を育成します。	<p>3.2.1専門的な知識、技術向上の取り組み</p> <p>(1)各事業所での人材育成の取り組み強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 外部研修への参加奨励と研究成果の共有 内部研修の充実 <p>(2)資格取得の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画的な資格取得奨励 <p>(3)新人教育制度の再構築</p> <ul style="list-style-type: none"> 採用後3年未満職員に対する定期的な研修 入職後研修の充実 新人教育担当者の育成・法人内の標準化 <p>3.2.2総合的な人材マネジメントシステムの構築</p> <p>(1)人事制度の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> 職務基準、等級制度の見直し 定期的な評価者研修 <p>(2)体系的な研修プログラムの再構築</p> <ul style="list-style-type: none"> 全職員が経営理念やビジョンを再確認する研修 階層別研修 実践型、ディスカッションできる研修企画実施
3.3福祉人材の確保に取り組みます。	<p>3.3.1戦略的な採用活動の取り組み強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 介護・看護にかかる教育機関への情報発信 職員による出身校への働きかけ・派遣 ホームページ・SNSを利用した採用活動実施 小中高校における福祉教育への積極的な協力 実習生の受け入れを積極的に実施 <p>(介護福祉士・社会福祉士・ボランティア・介護支援専門員・在宅看護実習生等)</p> <p>3.3.2法人のブランド力強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 法人の理念の実現に向けた各事業所の特色の取り組みと情報発信 <p>3.3.3多様な人材を確保し活躍してもらえる仕組みづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員の働き方を考慮した配置 多様な人材、多様な働き方を支援する体制づくり 外国人材確保に向けた研究 障害者の法定雇用率確保と障害者活用研究

【経営】

基本目標	実施具体策
4.1 法令遵守(コンプライアンス)の確保とガバナンスの強化に取り組みます。	<p>4.1.1コンプライアンスの徹底・強化</p> <ul style="list-style-type: none"> コンプライアンスチェックの実施・検証によるコンプライアンス体制の確立 内部通報制度の周知と通報時の対応強化 諸規程、マニュアルの見直し・整備 <p>4.1.2ガバナンス(組織統治)の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種リスクや倫理観の欠如等による施設・法人に対する信用信頼の失墜に繋がらないための機能強化に向けた体制整備 目標達成に必要な仕組みの整備と、適切な運用による内部統制の確立 第三者委員会、運営推進会議等の機能発揮
4.2 健全な財務規律の確立に取り組みます。	<p>4.2.1収支改善に向けた取り組みの強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 全職員に対し、収入の安定により職場環境の改善や地域の信頼獲得に連動していることの意識の醸成 定期的な部署別収支改善会議の開催 長期的な視野に立った修繕・改修・更新計画の策定 各種助成金の活用 収支改善に向けた奨励制度の検討 管理会計の徹底(各種月別経営分析の実施、財務状況の把握) 予算管理の徹底(月次予算差異分析の実施) 法人一括購入物品の選定及び発注で経費削減
4.3 技術革新を通じた労働生産性の改善に取り組みます。	<p>4.3ICT(情報通信技術)システム、AI(人工知能)、ロボット等を活用した介護現場の効率化、業務改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 各部署設置の生産性向上委員会より選出されたメンバーによる生産性向上プロジェクト会議によるICT等を導入した介護現場の効率化、業務改善の研究(夜勤業務の軽減、介護職の高齢化、利用者の重度化防止) 導入時のサポート支援体制の強化
4.4 信頼を得るための情報発信の強化に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> 利用者家族に向けた情報発信の強化 JA広報誌「夢あわせ」の寄稿 地域に向けた広報活動 ブログの更新管理 情報発信ツールの検討(インスタグラムなど)
4.5 災害・非常時への対応を強化します。	<p>4.5.1災害・非常時への対策・体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> BCPに基づく定期的な訓練(災害・感染症発生等の非常時対応、災害時における自家発電装置の稼働内容点検含む)、研修、見直し実施 災害発生時に向けた法人内連携、他法人との連携策の検討 職員安否確認システムの活用、訓練の実施 行政、他法人、地域との災害福祉支援ネットワークづくり
4.6 長期的視野に立った事業展開を検討します。	<p>4.6.1事業の見直しと新規事業の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> 次期中期計画の策定、並びに既存事業、新規事業の研究 施設修繕計画の策定 <p>4.6.2ジェイエー長野会との組織のあり方検討</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後の松本地域の介護環境・需要に対応した事業運営に向けた連携方策の研究 人材確保、育成に向けた連携 <p>4.6.3JA福祉事業とのあり方検討</p> <ul style="list-style-type: none"> JA福祉事業統合に向けた準備・調整(R7.4居宅介護支援事業の継承) <p>4.6.4介護報酬改定に対応した体制整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 2024年介護報酬改定に対応したサービス提供の整備

令和6年度固定資産取得・修繕計画

単位：千円

年度／事業	法人本部		特養和田		特養朝日		特養今井		松風園		入山辺	
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額
R6	公用車	1,000	ベッド	3,500	ユニットケアワゴン	632	職員洗濯機乾燥機	847	電気温水器	200	洗濯機	150
	ホームページ移管	1,738	荷物用エレベーター	4,500	町会冷蔵庫	164	PC	140	洗濯機	150	冷蔵庫	150
	Barracuda BackUP	2,000	ビリーブ(除圧マット)	2,540	コピー機	400			大型テレビ	350	照明器具	180
	PC	700	フルリクライニング車椅子	400	PC	560			PC	420	手すり	253
			普通型車椅子	260							PC	140
			LED化	10,000								
			厨房消毒保管庫	900								
			厨房冷凍庫	1,000								
			空気清浄機	450								
			駐車場外灯設置	450								
			ボイラー更新	21,321								
		加圧給水ユニット入替	1,760									
		PC	900									
R6合計		5,438		47,981		1,756		987		1,120		873

年度／事業所	和田デイ		朝日宅老		訪問看護		ヘルパー		和田福祉相談センター		今井福祉相談センター	
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額
R6	ボイラー更新	1,587	トイレ増築工事	2,145	デスクトップパソコン	450	公用車購入	1,000	PC	560	PC	140
			洗濯機	150	ボイラー更新	92	PC	140				
					光回線開通	300						
R6合計		1,587		2,295		842		1,140		560		140

年度／事業所	河西部西包括		太陽光	
	項目	金額	項目	金額
R6	ノートPC	300	パワコン交換	500
R6合計		300		500

	総合計
R6	65,519

令和6年度 資金収支予算書（決算推定対比、簡易版）

千円未満端数処理のため合計が合わないことがあります。（単位：千円）

科目		R6 予算合計	R5年度 決算推定	予算-推定	R5対比	
事業活動	【事業活動収入計】	1,457,486	1,454,330	3,156	100%	
	主支出	【人件費支出】	947,236	966,429	△ 19,193	98%
		【事業費支出】	212,631	211,571	1,060	101%
		【事務費支出】	206,071	193,525	12,546	106%
	【事業活動支出計】	1,367,448	1,374,206	△ 6,758	100%	
【事業活動資金収支差額】		90,038	80,123	9,914	112%	
施設整備	【施設整備等収入計】	0	0	0		
	【施設整備等支出計】	70,519	22,286	48,233	316%	
	【施設整備等資金収支差額】	△ 70,519	△ 22,286	△ 48,233	316%	
その他	【その他の活動収入計】	22,704	15,445	7,259	147%	
	【その他の活動支出計】	22,704	15,445	7,259	147%	
	【その他の活動資金収支差額】	0	0	0		
予備費支出		500	0	500		
〔当期資金収支差額合計〕		19,019	57,838	△ 38,819	33%	
前期末支払資金残高		548,088	600,291	△ 52,203	91%	
〔当期末支払資金残高〕		567,106	658,129	△ 91,022	86%	

科目		本部	和田累計	和田特養	和田 ショート	和田デイ	訪問看護	和田福相	松風園	朝日累計	朝日特養	
事業活動	【事業活動収入計】	0	544,912	355,293	11,030	77,580	44,165	56,845	287,472	199,740	153,372	
	主支出	【人件費支出】	4,264	364,471	220,493	5,634	56,373	36,406	45,566	136,178	145,458	106,254
		【事業費支出】	0	76,287	61,236	2,379	10,084	1,305	1,284	67,536	30,946	24,219
		【事務費支出】	614	62,754	47,782	1,966	6,933	2,355	3,717	65,348	24,198	19,785
	【事業活動支出計】	4,878	504,472	330,411	9,979	73,450	40,065	50,567	269,062	200,601	150,258	
【事業活動資金収支差額】		△ 4,878	40,441	24,882	1,051	4,130	4,100	6,278	18,411	△ 862	3,114	
施設整備	【施設整備等収入計】	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	【施設整備等支出計】	5,438	50,970	47,981	0	1,587	842	560	1,120	4,051	1,756	
	【施設整備等資金収支差額】	△ 5,438	△ 50,970	△ 47,981	0	△ 1,587	△ 842	△ 560	△ 1,120	△ 4,051	△ 1,756	
その他	【その他の活動収入計】	10,316	10,000	10,000	0	0	0	0	0	0	0	
	【その他の活動支出計】	0	3,806	2,279	52	650	371	454	1,723	1,558	1,083	
	【その他の活動資金収支差額】	10,316	6,194	7,721	△ 52	△ 650	△ 371	△ 454	△ 1,723	△ 1,558	△ 1,083	
予備費支出		0	500	500	0	0	0	0	0	0	0	
〔当期資金収支差額合計〕		0	△ 4,835	△ 15,878	999	1,893	2,887	5,264	15,568	△ 6,471	275	
前期末支払資金残高		0	191,995	△ 14,167	18,127	60,019	87,660	40,355	239,571	△ 3,316	△ 36,202	
〔当期末支払資金残高〕		0	187,160	△ 30,045	19,126	61,912	90,547	45,619	255,139	△ 9,786	△ 35,926	

科目		朝日 ショート	朝日 在宅所	ヘルパー	入山辺	今井累計	今井特養	今井 ショート	今井福相	河西部西 地域包括	朝日 太陽光	
事業活動	【事業活動収入計】	9,895	36,473	85,292	94,244	209,137	160,854	23,271	25,012	34,875	1,813	
	主支出	【人件費支出】	7,881	31,323	60,370	74,619	138,794	98,780	17,514	22,499	23,083	0
		【事業費支出】	1,955	4,772	1,625	10,866	24,645	20,522	3,665	458	705	21
		【事務費支出】	1,264	3,149	6,630	7,095	26,490	21,663	3,323	1,504	12,877	66
	【事業活動支出計】	11,100	39,244	68,675	92,580	190,199	141,235	24,503	24,461	36,664	317	
【事業活動資金収支差額】		△ 1,205	△ 2,770	16,617	1,664	18,938	19,619	△ 1,232	551	△ 1,789	1,496	
施設整備	【施設整備等収入計】	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	【施設整備等支出計】	0	2,295	1,140	873	6,127	5,987	0	140	300	500	
	【施設整備等資金収支差額】	0	△ 2,295	△ 1,140	△ 873	△ 6,127	△ 5,987	0	△ 140	△ 300	△ 500	
その他	【その他の活動収入計】	0	0	0	0	0	0	0	0	2,388	0	
	【その他の活動支出計】	83	392	3,079	5,722	6,517	6,083	186	248	299	0	
	【その他の活動資金収支差額】	△ 83	△ 392	△ 3,079	△ 5,722	△ 6,517	△ 6,083	△ 186	△ 248	2,089	0	
予備費支出		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
〔当期資金収支差額合計〕		△ 1,288	△ 5,457	12,397	△ 4,931	6,294	7,549	△ 1,418	163	0	996	
前期末支払資金残高		9,751	23,135	188,809	△ 26,591	△ 44,507	36,990	△ 81,497	0	0	2,127	
〔当期末支払資金残高〕		8,463	17,677	201,206	△ 31,522	△ 38,213	44,539	△ 82,916	163	0	3,123	